



スズメが減った！

農家にとっては実った稲のモミ米を食べてしまうスズメですが、春は害虫や雑草の種を食べてくれるなど益鳥の役目も果たしてくれるため、持ちつ持たれつ々の関係にあります。現段階では激減とはいえませんが、ゆっくりと数が減っていている状態です。

この辺では、心配するような個体減では無いと思われませんが、減り出すと絶滅へと転げ落ちていきます。早期の原因究明を待たれるところです。

親すずめが5羽の雛を育てるために、エサを一週間で4,800回運んだ観察記録があります。

エサとなる虫が農薬などの影響で減少しているため、満足にエサを与えられないのが、原因の一つです。

また、近年の日本家屋は機密性が高く、巣作りをする隙間がなくなって巣を作る場所が限られてきています。スズメの育つ環境の変化が減少の原因と考えられます。

環境省は、現在日本に生息するスズメの個体数は1800万羽ほどで、1960（昭和35）年代に比べ10分の1ほどに激減しているといっています。また、スズメは世界的に減少していて、イギリスでは過去25年間で9割もへったというデータもあります。

身近な野鳥が減少していくのは淋しいもので、何か、友達がいなくなっていくような悲しさを覚えます。

寄稿
名張鳥獣害問題連絡会
会員・ 田北 利治

名張市は自然豊かな街で、私が住んでいます。つつじが丘でも、タヌキや鹿、猿などの動物を良く見かけます。

しかし全国的にも、また名張市でも農作物を荒らす鳥獣被害が非常に深刻な問題になっていきます。

農作物の被害だけでなく数年前に、私の妻が運転する車と鹿が衝突したことがありました。幸いにも大した事にはならず、妻にも怪我などはありませんでした。が、なぜ鹿や猪、猿

の出没が農村部に限らず、団地にも多くなってきたのか？疑問に思いました。そこで鳥獣害問題に取り組みたいです。農家の被害についてのお話もよくお聞きしています。またつつじが丘の住民の方が、離れお聞きしています。

名張鳥獣害問題連絡会が、11年程前から毎月1回発行しています。猿新聞も、名張の猿の生態や、動物との共生について、た猿の実情や被害状況、対策について詳しく書かれていて、非常に勉強になっています。

私は動物と住民との棲み分けが出来て安心して暮らせる名張市のために、鳥獣害問題連絡会の一員として、皆さんと一緒に書かれています。非常に勉強になっています。

害問題についての対策について様々な取り組みをされていますが、まだまだ被害は減少していません。農家の方からも鹿や猪の被害についてのお話もよくお聞きしています。またつつじが丘の住民の方が、離れお聞きしています。

私は動物と住民との棲み分けが出来て安心して暮らせる名張市のために、鳥獣害問題連絡会の一員として、皆さんと一緒に書かれています。非常に勉強になっています。

私は動物と住民との棲み分けが出来て安心して暮らせる名張市のために、鳥獣害問題連絡会の一員として、皆さんと一緒に書かれています。非常に勉強になっています。

ノネズミ対策は 先ずモグラ対策から

古くから農家を悩ませてきたノネズミ問題。農家にとってはお荷物被害が問題です。出荷前の大切な農作物をかじってしまったり、農家にとつてこの上ない厄介者です。

ノネズミ対策には、モグラ対策が重要です。ノネズミ対策なのにモグラ対策とは何か話の筋がずれているように思われますが、ホントの話です。

モグラとノネズミの因果関係は、畑に堆肥をいれるとミミズが増え、モグラがそれを狙って畑の地中に穴を掘ります。ノネズミがその穴を利用して畑の地中を歩き回り根菜類や野菜の根を食べてしまうという関係。サツマイモなど根菜類の被害は、モグラが疑われていますが、真犯人はノネズミです。モグラは肉食で野菜などは食べません。ノネズミは雑食性で食欲も旺盛、しかもネズミ算という言葉があるほど繁殖力が強い。1ペアからアツと言間に激増します。

名張B群移動状況 平成30年5/21～平成30年6/20

近頃、B群の指導員からの報告情報が非常に少なくなっています。先月は、鹿高方面まで足を伸ばしていたB群は、5月～6月は、また、西谷周辺から動きません。群れは遊動域を均等に利用するのではなく、その時期の主要な植物（食物）の分布にあわせて遊動します。冬場は、集落周辺を遊動するのが普通ですが、最も自然界での餌の多い初夏に特定の場所から離れない

というのは不思議です。西谷周辺の植栽状態を考えても、サルのお好む特定の植物があるとは思われません。農作物に依存した群れでは、遊動域は小さくなります。また、小頭数の群れでは大きな遊動域は必要なく、比較的狭小になります。B群は、35～6頭で49.0km²と広大な遊動域をもつ群れだったのですが、大量捕獲後の現在では10頭余りの小さな群れとなっています。

名張A群移動状況 平成30年5/21～平成30年6/20

つつじが丘市街地のハナレザルの悪行がエスカレートしています。★ハナレザル直近情報 5/22 中学生帰宅時に遭遇。 25 ツバメの巣襲われる。 6/ 1 集団登校生徒噛まれる。 5 大人女性に抱きつき被害。 7 家屋侵入餅米など被害。 8 支援センターに2頭侵入被害。 13 女性、犬散歩中遭遇。 ハナレザルは、一過性で自然消滅

することが多い。ただし、その地域が気に入ると長期滞在することがあります。『サルに気に入られない街づくり』が大切です。～ハナレザル対策一口メモ～ ①網戸の季節、家屋侵入に注意して戸締りをしっかりしてください。 ②窓から見える場所に食料品などを置いておかないようにしてください。食べ物が見えると侵入される可能性が高まります。

